

国営伊江農業水利事業 「伊江地下ダム起工式」 を開催

「地下ダムで築く 伊江島の未来」の第一歩

仕事の窓

農林水産部

BUSINESS REPORT 2

沖

縄総合事務局土地改良総合事務局は、三月三日（木）、「伊江村はにくすにホール」において、沖縄総合事務局、沖縄県、伊江村、伊江村議会、伊江村国営土地改良事業推進協議会などの関係者約一〇〇名の参加のもと、伊江地下ダムの起工式を開催しました。

起工式では、式辞として沖縄総合事務局農林水産部長代理の銘刈調整官から、地下ダムの建設により安定的な農業用水を確保し、地域の基幹産業である農業の一層の振興を図るという事業の目的や事業着工に当たっての地元関係者の取組に対する御礼などが述べられました。

引き続き、森山土地改良総合事務所長により、琉球石灰岩が広く分布している離島である伊江島において建設される地下ダムの施設内容を含む国営伊江地区の具体的な事業内容が説明されました。

その後、諸見沖縄県農林水産部長、島袋伊江村長からの祝辞が述べられました。

島袋村長からの祝辞において「幾多の困難を乗り越えて伊江地下ダムの建設が開始されたことで新たな農業の展開が期待されます。村の歴史の一ページです。」と喜びが表されるなど、地域の大きな期待とともに伊江地下ダムの起工を祝いました。

当日は、式典に先立ち伊江地下ダム建設の最初の工事となる「伊江地下ダム試験工事」の安全祈願祭と建設機械の起動式が地下ダム工事現場で執り行われ、参加者の万歳三唱の中で、地下ダム止水壁を建設する大型機械が力強く動き始めました。



伊江地下ダム工事

な

お、伊江地下ダムは、平成十六年度に着工した国営かんがい排水事業伊江地区の基幹施設で、堤高五十五・九メートル堤長二千六百十二メートル規模を有しています。

この地下ダムの建設により、これまで伊江島で建設された約四十カ所もの地表集水型ため池の、すべての貯水容量を上回る七十五万四千m³の有効貯水量の農業用水が確保されることとなります。

